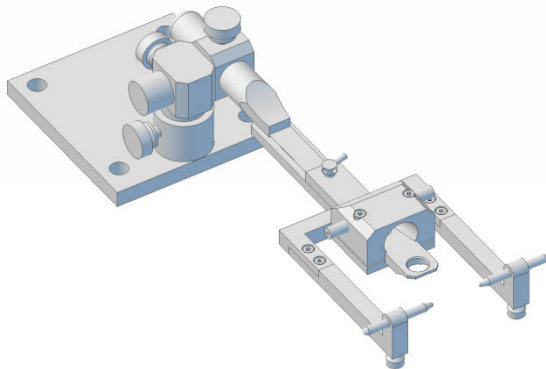


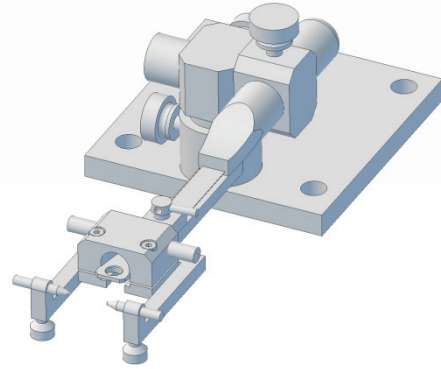
FENS 2014(2014/07/05~09)にて新発売！

SGM-3 頭部固定装置(ラット用) / SGM-4 頭部固定装置(マウス用)について

脳定位までは必要なく、顕微鏡下で対象の頭部を固定したい、傾きを付けて観察したいという要望に応え、SG-3N 頭部固定装置(ラット用) SG-4N 頭部固定装置 (マウス用)は好評をいただいております。そのSG-3N、SG-4Nに麻酔用マスクを取り付けたいという要望も多くありましたが、弊社のGM-3 麻酔用マスクは脳定位固定装置向けに作られていた為、取り付ける為には特注となり高額になっていました。そこで、今回SG-3N / SG-4Nに改良を加え、更に麻酔用マスクを標準装備としたSGM-3 / SGM-4をイタリアのミラノで行われるFENS 2014 (2014/07/05 ~ 09) に合わせて新発売します。

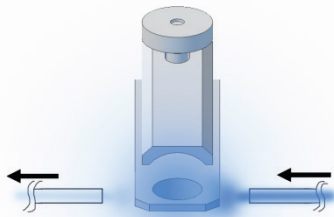


SGM-3 頭部固定装置(ラット用)

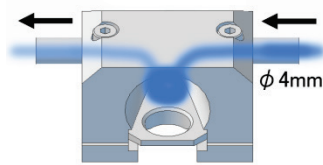


SGM-4 頭部固定装置 (マウス用)

麻酔用マスクについて



従来



麻酔用マスク

従来対象に吸引用麻酔をかける為、自作のチューブやクランパーで対象に麻酔ガスを送り込んでいるユーザーが多くいらっしゃいました。しかし、開放された空間に麻酔ガスが出る為、効きが不安定であったり、大量の麻酔ガスを使ってしまったりという問題がありました。

麻酔用マスクの側面にある取付部にφ4mmのチューブを挿しこみ、そこから麻酔ガスを出すことで、対象の鼻部に確実に麻酔ガスを送り込み、比較的少量の麻酔ガスで確実に麻酔をかける事ができます。

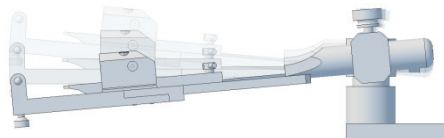
今回のSGM-3 / SGM-4用の麻酔用マスクは、内側に麻酔ガスの溜りを付けることで、麻酔が効きやすくなるように工夫されています。

※麻酔用マスクを使用されない場合は、通常の鼻金具を付属しておりますので、付け替えての使用が可能となっております。

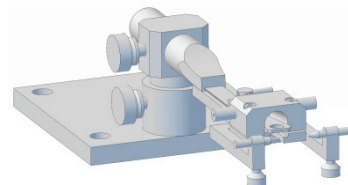
おじぎ機構を搭載しました

おじぎ機構とは固定部を上下する機構で、これをもちいることにより頭部の水平を取れるようになります。

SGM-3 / SGM-4は間接ブロックを間に入れることで、おじぎ機構を搭載しました。おじぎ機構が必要ない場合には、間接ブロックを外すことで可動部が少なくなり、従来通りシンプルに、より強固に固定できます。



おじぎ機構



従来の取付法も可能

従来のSG-3N / SG-4Nも平行販売します

麻酔用マスク、おじぎ機構が必要ない場合には、従来通りSG-3N / SG-4Nをお求めいただくことで、比較的安価に頭部固定装置を利用することができます。

※今回SGM-3 / SGM-4が出た事で、すでにSG-3N / SG-4Nをお持ちの方へのGM-3 / GM-4を取り付けたいという旨の特注は受けできなくなりました。ご注意ください。

ご不明な点等がございましたら、お気軽に弊社までお問い合わせ下さい。